

彼岸会のお知らせ

本年から、春・秋のお彼岸のお中日（春分・秋分の日午前中）に彼岸会を行います。
ぜひ本堂で供養を行ってからお墓参りをしてはいかがでしょうか。

彼岸ってなに？

お彼岸とは、「春分の日」と「秋分の日」を“お中日”として前後3日間の期間をいいます。
お中日は太陽の出ている時間（昼）、月の出ている時間（夜）が同じになることから、お釈迦さまが説かれた教えである「中道（ちゅうどう）」という偏らない考え方を表す日、またはあの世（彼岸）とこの世（此岸）が一番近づく日とも考えられています。

そもそも仏教には、「彼岸（ひがん）」と「此岸（しがん）」という言葉があります。我々が住む世界（この世）を「此岸」といい、川を挟んだ対岸を悟りの世界、仏さまの世界（あの世）である「彼岸」といいます。つまり「彼岸」とは、煩惱の川である「三途の川（さんずのかわ）」を渡り、仏さまの世界を目指すことでもあるのです。

我々は仏さまの世界に渡ることを生きながらにして実感できる方は少ないかもしれませんが、ご先祖さまたちは一足先に仏さまの世界で生活しています。仏さまの世界が一番近づくこの期間に供養をすることによって、より供養がご先祖さまに伝わり、我々自身が仏さまの世界に行くための功德を高めることができるのです。

彼岸会で供養しよう！

彼岸会では、ご先祖さまへの供養だけでなく、生きている我々自身の功德を積み上げる意義があります。ぜひ多くの皆さまにご参加いただき、日頃の感謝をご先祖さまにお伝えしましょう。

当日の流れについては、下記をご参照ください。

日時

令和4年3月21日(月祝)

法話:10:40~

法要:11:00~

場所:宝蔵院本堂



お塔婆のお申込みについて…

彼岸会でもお塔婆の供養を承ります。お彼岸の入りの日にお塔婆供養をいたしますので、お中日にお参りできない方のお申込みもお受けいたします。

※お申込み方法は、同封の塔婆申込用紙にご記入の上、直接お持ち頂くか、現金書留にてお願いいたします。

※3月14日までのお申込みにご協力お願いいたします。

※お塔婆は、一本4,000円。彼岸会供養料2,000円のお納めもお願いいたします。